

早いもので、今年も残すところあと一週間、今年最後の井戸端だよりをお届けする時期となりました。皆さん、いかがお過ごしですか。年の瀬でバタバタ動き回っていらっしゃるでしょうか。

さて前号以降の活動を振り返ってみたいと思います。

9月27日第4弾出合い塾では、重信町在住のインドのヒラさんをお招きして、主にご主人の国バングラデシュの事情をうかがいました。手作りのカレーの試食もあり、衣・食・住・文化・教育等多方面からバングラデシュに触れることができました。初参加の会員や子供が感想を寄せてくれました。(p.12)

ところで、重信町では、11月5日からの猶予期間を経て、12月から指定ゴミ袋制が完全実施されました。(新聞切抜き参照)これに先立ち、各地区で町の説明会が行われました。

10月28日例会では、主にこの指定ゴミ袋制について会員の意見を交換しました。(詳しくは、次のページ)

11月25日例会では、完全実施を控えた猶予期間中の指定ゴミ袋制についての町民の意見を拾ってみました。色々な人が、色々な立場で言っているわけですから、これを全部聞き入れるなどということはどうも不可能なことだとは思いますが、しかしその中から、重信町に合ったよりよい方法を見つけ出していく努力は今後も続けていく必要があると思います。形だけでなく、住民の意見が披露され検討される中身のある検討委員会がより頻りに開かれることを強く望みます。(p.2,3)

12月2日指定ゴミ袋制完全実施。いたるところで違反ゴミシールを貼られたゴミが置き去りにされているのを見かけます。ゴミ問題の今後はいかに、今私達は何をなすべきかを考えさせられます。

話が前後しますが10月第4土曜は、第2回自然観察会で風穴から皿が嶺に登ってみました。紅葉の美しさ、自然のすがすがしさを満喫しました。身近に自然と触れ合える重信町の素晴らしさを再発見しました。(p.13)

12月例会は異文化理解第3弾中国の張さんによる肉まん作りの講習会と忘年会を兼ね盛大に行いました。異文化理解は、先ず触れ合うことから、そして一緒に何かやってみることから、歌は世界をつなぐということを実感した一日でした。(p.14)

詳しくは、2ページ以下をご覧ください。

(T・H)

\* ちょっと悲しい話 \* \* \* \* \*

11月21日の愛媛新聞によると・・・

何度もお話を伺いにお邪魔したことのある楠先生のあの自然観察園とでも言うべき庭が、都市計画道路の建設により敷地の1/3が割ることにより大被害を受けるという。先生のお気持ちを考えると胸中察するに余りあるものがある。32年かけて生態系を考えながら造り上げたあの貴重な自然が、また姿を消すかと思うと悲しくなる。300種類の植物が根付き、それを求めて50種ほどのチョウが舞い野鳥が巣作りするという。4層からなる自然林の生態系・・・一度壊たらもう元には戻らない。図面上の都市計画ではなく現場に足を運んで、見て!



## 10月28日例会報告

- (1) 町指定ゴミ袋制実施に向けての問題点について話し合いました。
  - ・ ゴミ減量化に努めるため、自宅及び周辺で紙ゴミ等を溜積する人が多くなってきたが、ボヤを起す危険や空気汚染を考えると心配である。(関連記事参照)
  - ・ 違反ゴミ及び違反投棄ゴミの処理はどうなるのか。各地区の当番に任せるといっても、組に入っていない人もいるし、住民票上住民でない人もいる現状では難しいのではないかと。出した人が分かれば処理もできるが、全然分からないゴミを、自分の指定袋を使って当番が分類し再度出すなどということは負担が重すぎるし、一部の人におんぶすることになってしまうのではないかと。この点の町の最終的な対応はどうなっているのか。
  - ・ 不燃物の分別も同時進行すべきである。その上で、住民のリサイクル意識の向上をはかった方がいいのではないかと。(新居浜の例 新聞切抜き参照)
  - ・ 商店街、スーパーなどに働きかけてもとから絶つ方法を考えて行くべき時がきている。買物袋持参運動も強力に進めて行きたい。
- (2) 絵はがき収益金の使い道について検討しました。
  - ・ 大気測定機購入案は、森川さんの報告を受けてみんなで検討した結果不採択となる。
  - ・ 町長懇談会を計画し、再度泉の保全の為に提供したい旨申し出るということになった。→ 懇談を申し込んだところ、11月は町長多忙のため、12月に入ったから町の方から連絡するとの解答を得た。
  - ・ 町長懇談会では、今後の泉の計画や、風穴キャンプ場の具体的整備計画、どんな木を植えるのかなどについて聞きたいという意見が出た。もし、桜、シャクナゲなどを植える計画であるのなら、ぜひ地元にあった木を植えるよう変更してほしいという意見。
- (3) えひめ女性財団の女性グループ助成金の申し込みについての報告がありました。
  - ・ 会の趣旨、会報を添えて企画書を提出した。
  - ・ 内容は、大分野生物研究室室長菊屋奈良義氏を講師に迎え、親子自然観察会をするというもの
  - ・ 目的は、身近な自然を観察させることによって今欠けている子供達の豊かな感性を育てるため。母親たちが、自主計画、運営することによってその他の地域活動にも積極的に参加するようになるため。

## 11月25日例会報告

- (1) ゴミ事情について聞いた町民の声をみんなが報告しました。
  - ・ 河原へのゴミ投棄が増えている。龍沢泉を見に行ったら、前にも増してゴミの不法投棄が増えていた。
  - ・ 不法投棄の違反者捜しの様に人間関係がギスギスしてきた。
  - ・ 違反ゴミの処理方法に困っている。受け皿がほしい。
  - ・ 同じ税金を払っているのに、人数によって袋の大小が決められるのは納得がいかない。息子夫婦が帰ってきたときなどは、ゴミが増えて、とても小の袋では賄いきれない。
  - ・ ゴミ減量化の為に、台所にデスポーザーをつけた人が増えた。規制はできないのか。→ 生ゴミを粉碎して川に流したのでは、川の汚染が心配される。
  - ・ 月曜日がゴミ収集の地区は、休日が多くて困る。なんとかならないか。
  - ・ 紙ゴミをむやみに燃やすのは悪臭が出て困る。
  - ・ どんなんにルールを守っていても犬などに袋を喰いちぎられて困るので、町の設置したゴミ入れが欲しい。

- ・ 公民館使用などで出たゴミの処分を使うゴミ袋はどうなっているのか。
  - ・ 減量化に努め余ったゴミ袋は、買い取ってもらいたい。
  - ・ 勤めている人は、当番に当たってもなかなか果たせないで、役場とかにゴミステーションを設置してそういう人たちが運んで行けば入れられるようなシステムを作って欲しい。
  - ・ 今、燃えるゴミの中にビニール類を入れていいことになっているが、まだ旧式の焼却場なので、山之内の人たちはものすごい煙と悪臭に悩んでいる。
  - ・ 組に入っていない人、及び住民票上の住民でない人に情報は行き渡っているのか。住民でない人が、高いお金を払って指定ゴミ袋を買うとは思われない。
  - ・ 町の説明会は、ただ実施方法の説明に明け暮れ、なぜ今この制度が必要なのかについての説明が余りにも乏しかった。これでは、住民の意識を高めることはできない。不燃物についても一緒に始めるべきだった。
  - ・ 町の説明会は、組長だけが参加すればいいというもので、末端まで連絡説明が行き渡らなかった。横河原では、組で町の人を呼んで勉強会をすることになった。(”ゴミ分別勉強会に参加して”参照)
- (2) ゴミ問題についての他の市町村その他での取り組みを検討しました。
- ・ 女性塾が研修旅行で行った出雲市のゴミ事情について  
 ゴミヘルパーがいる。  
 ゴミ袋は、最初無料配布、余った分は有料で引き取る。  
 瓶、缶のリサイクル●を行っている。前市長の強力なリーダーシップがあった。
  - ・ あるビール会社でのゴミO運動 (“やる気になれば”参照下さい)
  - ・ 東京の商店街の話 (同上)
  - ・ 松山で、不燃物の分別収集が始まる。同じ業者に委託している重信町がこのままでいいのか。(”重信町のゴミの行方”以下を参照下さい)
  - ・ ドイツのある自動車会社では、自社の車は全ての部品がリサイクルできるように設計されるようになった。リサイクル先進国の究極の姿である。
  - ・ 大型ゴミについての新居浜での取り組み(新聞切抜き再参照)
- (3) 次回出合い塾と定例会について
- ・ 次回出合い塾は農業者の話を予定していたが、講師の都合で来年に無期延期する。
  - ・ 12月例会は、重信町在住の中国人張さんによる”肉まん”作りの講習会及び忘年会を兼ねて12月9日か2日に行う。

シン シン ト シン シン ★★ ★★ 内 内 的 星 星 (キラキラ星) イ シン イ シン リン チン チン ー 内 ー 内 亮 晶 々 マン シン ト シン シン シン 満 天 都 是 小 星 々 カン シン シン シン シン シン 掛 在 天 上 放 光 明 ハン シン シン アー チン ン 好 像 猫 儿 眺 眼 晴 イ シン イ シン リン チン チン ー 内 ー 内 亮 晶 々 マン シン ト シン シン シン 満 天 都 是 小 星 々	<b>肉まんの作り方</b> (約35個分) (材料) 薄力粉 1kg ドライイースト → 耳たぶより 30° C位の水 少しかたためこねる → ボールにいれ2倍になるまで発酵 (あん) にら2束 豚ミンチ500g むきえび 100g 卵3個 ミンチに醤油大2 サラダ油大3 砂糖少々をいれよく混ぜる+いりたまご+にら小口ぎりしたもの+塩大1/2、胡麻油を加えよく混ぜる皮を1/4に分け棒状にのぼし40g位づつ切り中央を厚くし丸くのぼす。中央に具をのせひだを寄せながら包む→蒸し器で10分位蒸す
---	--

## “ゴミ分別勉強会”に参加して

K.O.

12月からの指定ゴミ袋導入開始を目前に控えた11月28日夜、横河原公民館で役場の生活環境課の2人の職員の方を迎えて「ゴミ分別勉強会」が開催されました。様々に具体的な“ゴミ”についての質疑応答が行われ、燃物ゴミの日に捨てて良いものが予想以上に多いことに改めてビックリしてしまいました。おまけに生ゴミ、プライバシー・ゴミなどはスーパー袋などの“内袋”が大幅に認められ、外側だけ指定袋を使用してさえいればOKと言う様に見受けられました。(役場の方の説明によれば、指定ゴミ袋と同サイズの黒いゴミ袋を内側に重ねる二重袋方式のみが認められないと言うことの様でした。)

そんな中で、私がどうしても尋ねておきたかった

「残された違反ゴミは最終的に誰がどうするのか」

「重信町に住民票のない人については新しいゴミ袋をどのように衆知徹底させるつもりなのか」

という2つの質問については、結局明快な回答はいただけませんでした。

ただ役場の方が繰り返し

「今は始まったばかりなので色々問題が出てくるでしょうが、より良い方法を考えていきたい」

とおっしゃって下さったので、町民を交えたこのような話し合いの場がこれっきりではなく今後も度々もたれることを期待しています。そして、町民の声を十分に吸い上げる一方、真の意味でのリーダーシップを町に望みます。例えば、現在のように電話一本でゴミ集積場が決まるのは如何なものかと思うからです。もう少しゴミ収集車の運行や世帯数などを考慮した上で町の方で現在の組単位を度外視した集積場所を考えても良いのではないかと思います。また、これ以上ゴミ集積場を増やしたくないとも言っておられましたがゴミ置き場のないマンション・アパートが多い現状では、マンション・アパート単位のゴミ置き場の新設は必要不可欠なことと思われれます。

しかし、この話し合いの場で1人暮らしの女性が

「マンションの部屋の番号まで明記するからフルネームの記入は止めさせて欲しい。苗字だけにさせてほしい」

と言う意見が通ったことは、娘を一人暮らしさせている親としては他人事ながらホッといたしました。

## やる気になれば

ゴミ戦争という言葉初めて耳にした時の驚きが、現在では既に遠い気がする。事態は更に悪化して、泥沼・・・と悲観していると、テレビでこれまた驚くようなゴミ対策の報道番組を見た。

それは、どこかのビール会社でのこと。そこでは、最近ついにゴミが消えたというのである。ゴミ0。決め手は徹底した分別で、36分別、すべてリサイクルしている。工場内での分別を徹底するために、専属の人間を一人置くほど。それでも、いままでゴミ処理にかかっていた費用は大幅に減少したのだそう。

~~~~~

次は、地域ぐるみでの実践の話。早稲田の商店街では住民たちがリサイクルに立ち上がったと言う。一軒では難しいリサイクルも商店街としてまとまってやれば、というアイデアで、3割はゴミが減ったそうだ。こちらの動機は、ゴミ有料化の対策というから、なるほど商店街、こうでなくっちゃ、と納得した。

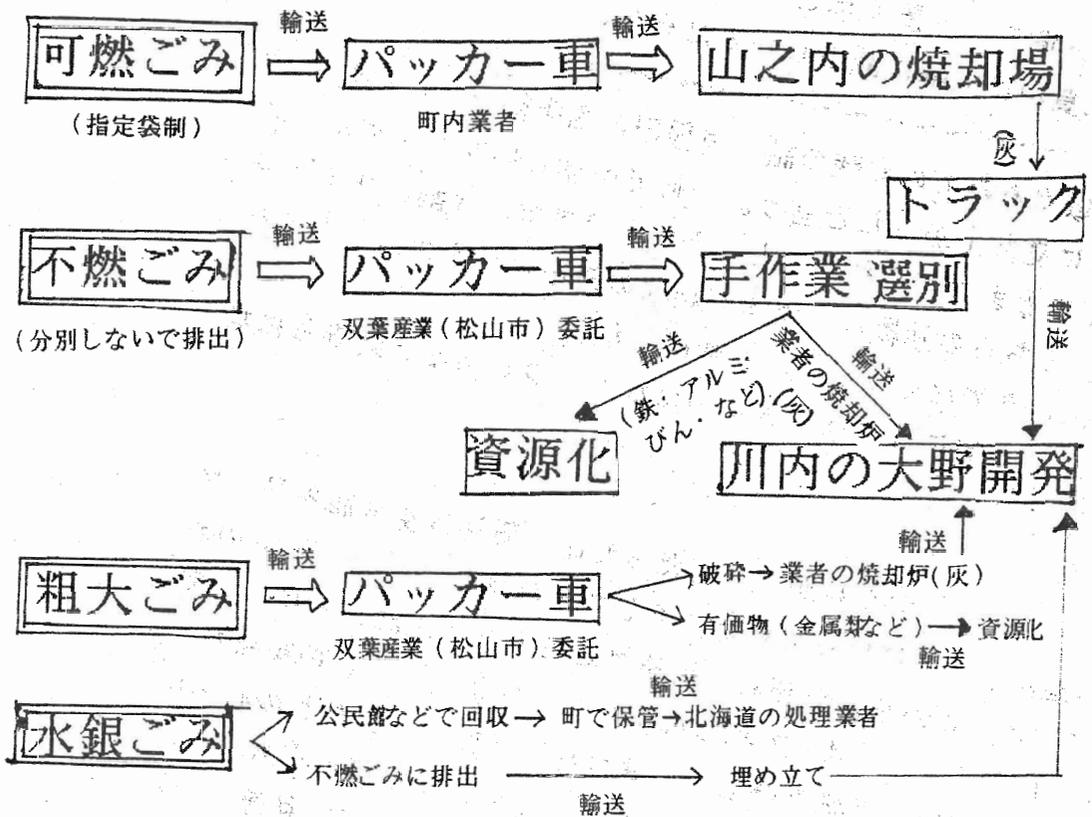
どちらも、本気になればできるんだと、少し明るい気持ちになれた。

むかし、といっても私がこどもだった頃、醤油は空き瓶を持って近所の酒屋へ買いにいっていた。そしてそれはたいてい子どものお使いだった。だから、夕暮れの街角でころんで、醤油びんはよく割れた。悲しいのと、帰って叱られるかもしれない不安との複雑なきもちに醤油の匂いが絡み合って、せつない夕暮れが、だれの心の中にもあった。たった30年前のことだ。いま、せつない夕暮れはなくなり、ペットボトルの山だけがのこった。こうして、私達は便利の為にゴミのやまを作った。そのゴミのやまに押し潰されそうになっても、まだゴミを産む暮らしを止められないでいる。何とかしなければと誰もが思いながら、日々の生活のスピードを緩められない。

まず、出来ることから、ひとつから、始めなければ、私自身が。

(Y.Y.)

## 重信町のごみの行方



町民が排出したゴミが、どのように処理されているのか分かっていただけでしょうか。また、処理費用についても、平成3年度約1億3,509万円→平成7年度約9億9,440万円(来年完成する焼却場の建設費も入っていると思われるが)と、増加の一端をたどっているのが現実です。

#### 「可燃ゴミ」

処理費用減少の為に指定袋制を導入し、配布以上は有料とすることは、前回お知らせした通りです。(問題点は多々ありますが)

#### 「不燃ゴミ」

何もかも一緒に排出し、バッカー車で混入した物を手選別という大変な作業を行っています。

びん類、金属類、プラスチック類と3分別で回収すれば、選別が簡単になり、リサイクルの効率も良くなるはずで。

#### 「粗大ゴミ」

破碎後、業者の小型焼却炉で燃やしているのですが、有毒ガス(ダイオキシン等)の事が大変気になります。

新居浜市が12月より「不用品交換制度」をスタートさせましたが、とても良いシステムなので重信町でも実施してほしい。

#### 「水銀ゴミ」

乾電池は、回収量よりも不燃ゴミに混入されている方が多いと推察されます。特に、蛍光灯は「不燃ゴミ」として排出されていますが、内側に重金属が使用されているので土壌汚染などの心配があります。「水銀ゴミ」として収集してほしい。

### 『町内のゴミは町内で処理する』

その為には、・リサイクルプラザの設立

・最終処分場を町内に作る(きちんと整備された物を)等、課題は山ほどあります。今後の重信町の動向に期待しています。

(A・M)

# 何気なく燃やしたもののからダイオキシン

えっ！  
家ではゴミ焼き  
しないほうが  
いいの？

落ち葉にも  
ダイオキシンが  
含まれてるんだって！

学校や会社でも  
のをよく見るけ  
だいじょうぶ

今年の5月頃、新聞各紙やテレビニュースなどで一斉にダイオキシンのことが取り上げられていましたね。

その内容はというと“ゴミ焼却炉で発生したダイオキシン類が、大気中に移動拡散した後、雨やチリと一緒に再び地表へ降下しているということが、愛媛大学の脇本教授のグループの調査で確認された”というようなことでした。

ダイオキシンとは、有機塩素化合物「ポリ塩化ジベンゾダイオキシン」の略称。塩素の数によって70種以上の種類があり、他に類を見ない猛毒物質といわれ、その毒性はDDTやパラチオンの1000倍以上でその影響も又皮膚障害・内臓障害・発ガン性・催奇形性など多様かつ強力ということです。

ダイオキシンに関する報道といえば、ベトナム戦争でアメリカ軍が使用した「枯れ葉剤」に含まれていたダイオキシンが原因で、奇形児の出産、死産が非常に多いという報道がたいへんに衝撃的だったのを覚えているのですが、日本ではどうかといいますと、全国の自治体のゴミ焼却場の灰から検出された事から始まって、水田除草剤から、パルプ工場の廃水から、魚や母乳からも、最近では産廃の不法投棄されたあの豊島の現場からも検出されたというように、ダイオキシンに関する報道はけっこう多くされてきていたのですが、今回の愛大グループの調査結果は、ダイオキシンというものが私たちのすぐ身近に迫ってきているという事実、塩素を含んだものを燃やすことによってダイオキシンが発生してしまうという事実をはっきり突きつけられた気がします。

ゴミ焼却炉というと、自治体の焼却炉ももちろんダイオキシンの発生源となりうるのですが、脇本教授は、学校や事業所・家庭などで使用されている「小型焼却炉」の方が数が多く問題だと説明しています。松山平野内の小型焼却炉の灰を調べたところ、ダイオキシンの出ない炉はなかったそうです。

ポリマーなどが主な発生源と推測している。  
調査は、愛媛県松山市郊外にある愛媛大学校舎前上りから九月から十一月にかけて行い、雨水と降下煤

雨水に吸収されるわけではなく、年間を通じて枯葉剤が降下しており、生物濃縮による人体への影響が懸念されると指摘している。



# 分別・減量 町を美しく

## 9割徹底、出足まずまず

ごみ分別収集の徹底と、減量化を目指し、温泉郡重信町は今月一日から指定ごみ袋制度をスタートさせた。平成七年度の同町のし



重信町が導入した指定ごみ袋

指定ごみ袋制度スタート 重信

排出量は六千二百五十五ト。二年度の五千五百六十トに比べ約七百五十ト増えている。増加分のほとんどは可燃ごみという。

先月五日からの猶予期間を経て、一日から完全施行。二日から四日まで、町職員がごみの集積場に立って指導した。同町生活環境課

は「バラツキはあるが、九割の町民が守ってくれている。まずまずの出足だ」と話している。

ごみ袋は三千リ入り(縦六十八センチ、横五十センチ)と五十リ入り(縦八十五センチ、横六十八センチ)の二種類。半透明で名前を記入するようになっていて、毎年各戸に

業者がごみを収集する際に▽指定以外の袋▽無記名▽分別していない▽場合は、赤色の注意シールを張って収集せず、ごみを出し

可燃ごみ (指定袋に入るもの) …… 台所ごみ・紙くず・アルミ箔・ビニール類  
 布製品・革製品・紙おむつ等  
 (新聞・雑誌・ホムステット等は、別にくくって出せる)  
 プライバシーに関わる一部のゴミについては、内装と認める(スーパーの袋)  
 以上を指定袋に入れ、地区名、名前(アルファベット)を記入の上、出すこと  
 ② 発泡スチロール、弁当ガラ、洗剤の入った物、ペットボトル等は 不燃ごみ

た本人や地域に改善を促す。同課は「自分のごみは責任を持って、定められた場所に出してほしい」と呼びかけている。

いよいよ 中予 ローカル線

## 不用品交換ネットワーク?!!

愛媛大学農学部留学生担当講師ルース・バージン先生から、不用品交換のネットワークを重信と愛大農学部で作らないかと声をかけられました。主に、短期滞在の留学生のためにということですが、日用雑貨、特に電化製品を彼らは必要としているということです。重信の留学生のためには事あるごとに対応してきましたが、もっと広い範囲に広げれば、よりその機能が発揮されることでしょう。要らない人から要る人へ資源もエネルギーも節約できますね。会う人ごとに声をかけていますが、それでもずいぶん集まり、留学生のために役立ちました。うちを見渡して、使わない資源ゴミがありましたらご一報下さい。

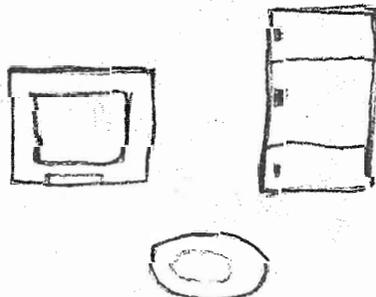
- ・ビデオ
  - ・電子レンジ
  - ・CDラジカセ
  - ・こたつ
  - ・コップ
  - ・スプーン
  - ・ポット
  - ・スタンド
  - ・自転車
  - ・ミシン
  - ・せっけん
  - ・タオル
  - ・鍋
  - ・食器
  - ・洗濯機
  - ・テレビ
- などなど

捨てればゴミ、

生かせば資源

あなたの回りを、今一度  
点検してみませんか。

連絡先: tel 964-6956  
fax 同じ  
(林)



新居浜市は十二月から、家庭で使わなくなった家電製品や家具などの提供者と引き取り希望者を仲介する「不用品交換制度」をスタートさせた。さっそく市民から冷蔵庫や机、チャイルドシートなど十五件の提供情報が寄せられ、滑り出しは上々のようだ。

市生活環境課の若手職

## 取材 最前線

新居浜市は十二月から、市民のリサイクル意識を高めようと思いついたという。同制度は、買い替えて話聞き、市民のリサイクル意識を高めようと思いついたという。同制度は、買い替えて調査し「提供情報カード」を作成する。一方、引き取り希望者は同カードを閲覧するか、あらかじめ要望書を提出しておけば、希望物品が出てきた時に連絡を受けることができる。

リサイクル対象品は、家電以外にギターやオルガンなどの趣味用品、ワンプロや地球儀などの事務・文具用品、ベビー用品などさまざま。譲渡はすべて無料が条件となる。ただし食料品やペットなど生き物は取り扱わないとのこと。

「捨てるにはもったいない」と思いつつ、粗大ゴミに出そうとしているモノがあれば、同課に電話してみればいかがか。(新居浜支社・山西雅博)

(9月27日第4段出会い塾)

—— ヒラさんとの楽しいひととき ——

初めてお会いした異国の方は、笑顔の素敵で日本語の上手な方でした。日本語以外は全くダメな私は一安心していろいろとお話を伺いました。その中でも特に印象に残っているのは、一族で暮らすので親は長男がみるという様な考えはないという点です。一族皆で老いも若きもワイワイガヤガヤと暮らすのは一人っ子同士が親をみる時代も近いと言われていた日本が参考にできる生活パターンかなとも思いました。日本流に適当に手直して・

。。。。。。  
バンラデシュでも都会ではやはり受験戦争もあり塾もある忙しい生活に追われている子達もいれば、たとえ7、8歳でも生きるために仕事をしてその日の糧を得ている子達もいると聞いて貧富の差は想像以上のものがあると感じました。また、祖先を敬い信仰心厚く暮らしておられるイスラム教、ヒンズー教徒の方々から学ぶ点も多いと思いました。何事も足元を確かめ日本人としての自分を見直す良い機会になりました。

今回のイベントの一つカレーの試食は美味だったのですが、作り方を教わらなかったのが残念です。あっさり風味のカレーでした。家の者にも食べさせたいな。

そして最後にヒラさんにサリーを着せて頂き、3名が順番に着たのですが、5メートル余りの絹布一枚が優雅なレディを誕生させるサリーの不思議な魅力に皆で見とれてしまいました。私も皆の視線を一身に受けて気恥ずかしい気持ちもありましたが、それ以上に晴着を着る娘の気分に戻り20歳は若返ったのではと嬉しさで一杯でした。写真を楽しみにしています。皆さんのおほめの言葉を素直に信じて楽しくお開きとなりました。

ヒラさん、林さん、皆様、楽しいひとときを有難うございました。(N)

ヒラさんの作ったカレーが  
とてもおいしかった。また食べたい。  
私はインドの人に初めて会った。  
ヒラさんは楽しい人だった。

"サリー"という、インドの服装も見せて  
もらった。布を体にまきつけるようにして、  
すごく綺麗だった。  
14 years old

"インドの音楽"に入ると、私はたずねた。  
大人たちは、その話でしばらく盛り上がり  
ていたが、一度、実際にきいてみたいと  
思った。

インドのお茶"チャイ"、私はこれが好きだ。  
そして、インドという国に、行きたいと  
思っている。私は日本人だけど、もししたら  
20年後にはサリーを着てインドの街を歩いて  
いるかもしれない。



Omigawa  
yog

第2回  
自然観察会

10月26日(土) 午前8時~

はじめまして、岡本治加子と申します。

今年、8月に古岩屋寺での自然観察員の講習会で菊地さんと知り合い、9月、10月と観察会に遊びに行っています。

自然観察会の講習を受けたといっても、専門的なことは何も知りません。ただ自然の中で楽しもうという心は強いのです。それに年齢に関係なく、大人も子どもも共に自然の中に浸れるのは気持ちいいですよ~。

9月の三か村の観察会の時は、まず三か村の泉を探すのが大変でした。だって外からはわかりにくかったのです。

中にはいると、別世界。透明な水、清々しいクレソンの緑、所々飛んでいる羽黒トンボ、周りのクヌギの間からの木漏れ日が落ち、水に入った私の足まできれいに見えました。

しばし年齢も忘れて、白形さんから渡してもらった弁当箱の透明な蓋で水の中を見たり、魚を探したりと、私にとったら満ち足りた時間を過ごしました。あそこは、私にとっても大事な場所になってしまいました。

10月は皿が嶺へ行きました。ただ頂上を目指して行くのではなく、回りの木々を見ながら、色づいた葉を集めたりしながら登りました。途中白形さんから茸のムキダケを教えもらい、それは持って帰って味噌汁にいれて食べました。大丈夫でした。

竜神平では山小屋(無人)でコンロで沸かしたココアをいただきました。もう少し寒くなってから山でラーメンを作るのなんかもいいだろうなと想像しています。いいでしょうね。

私にとったら、毎日のあくせくした生活とは違う非日常の世界、それが自然だと思っています。また、よんでください。菊地さん待ってます。

血ヶ峠<sup>かんろ</sup>に行く前日の夜  
雨から、たから紅葉や緑  
がきれいに見えていた  
今  
地面は葉ばや木の突  
とかがいっほいおちてい  
で、いろいろお葉を近  
くで見れました。向こう  
で友達<sup>とも</sup>たちと  
キノコをさがしたり  
して、帰ってからしほと  
んどづがれていました

田中ささ子

~~きんこ~~

さん<sup>さん</sup>

こんにちは、このあいた  
は、さらかみねにつれていって  
くれてありがたう。かえって  
きんにくつうにもねらすがじか  
えれました。またさそってくださる

(大のあつ子)



333  
ココア  
ピル  
おいしかた

# 12月9日例会報告

例会 +

異文化理解講座  
肉まん講習会

+

忘年会

12月9日(月)に行った例会は、町内在住の中国人張さんを招いて、“肉まん”を作り、昼食会も兼ねた欲張り例会だった。

本場中国の肉まん作りを教えてもらえるとおあって、みんなはいつにも増して期待に満ちた面持ちだった。

年上のおばさん達に囲まれた張さんは最初少し気後れされた様子だったのに、料理にかかると、さすがに腕も指もやり慣れた動きでおばさん達の視線を一気に集めた。

少し考えながら、しっかりした日本語を話される張さんを前に、私は自分のいかげんな日本語会話を反省していた。

昼食会に入り話が弾む中で、張さんが南吉井小の一年生(註：張さんのお嬢さんも1年生に在籍している)に中国語のキラキラ星を教え、1年生全員が音楽会でそれを歌ったという話が出た。

この話は、“異文化の風に触れたい”というおばさん達の興起心を刺激した。

早速、中国語の原文にカタカナで読み方を書き、張さんの口の動きを見ながら発音練習をして、みんなで歌った。

リズムを知っているというのは何と歌いやすいのだろう。また、世界で共通のリズムがあるのは何てすばらしい事だろう。

みんなで持ち寄った一品と苦心して作った肉まんできれいな昼食、それからみんなで歌った“シャンシャンドウシンシン”その場に居たみんなが互いに一歩近づいた一時だった。

## おまけ話

例会で歌った中国語で歌うキラキラ星に感激した私は、習字教室の子供たちのクリスマス会でみんなに中国語のキラキラ星を伝えた。次第に大きくなる子供達の歌声に私はステキなプレゼントもらった気がした。

そして、一週間後、一人の子供が私にささやいた。

”とっても嬉しいこと教えてあげる。

私のクラスであの歌を中国語で終わりの会に歌う事にしたの。

私が先生に歌詞をみせたらそうすることになってね。それで私ね、

あの歌中国語で暗唱できるようになったんよ” (R・D)

註：キラキラ星中国語版 肉まんレシピは前掲しました。(p. 3)

(その他の連絡事項)

- ・ えひめ女性財団の女性問題自主活動支援事業への申し込みは、結局採用されませんでした。菊地さんが何でも足を運んでくれ、県の人でも私達のグループの活動自体には、かなり関心を持ってくれたそうですが、自然観察という企画がいわゆる男女共同参画型社会作りへの援助というテーマと少しずれている様に受け取られたようです。残念でした。菊地さんご苦労様でした。
- ・ 町長への懇談申し込みは、結局12月に入っても連絡がないまま、年の瀬を迎えてしまいました。ただ、町民文化祭の時町長と直接話す機会があり絵はがきの収益の話は直接耳に入れることができました。今までの私達の申し出は、産業課止まり、町長は何もご存じないようでした。収益寄付の話聞いて町長は乗り気のようでした。早く懇談会を持って話を煮つめたいものですね。
- ・ 9月7日に取材を受けた朝日新聞の記事が、12月13日掲載されました。

(新聞切抜き参照)

次回は1月27日(月) 10:00～ 町民会館

総会です。こぞってご参加下さい



環境委員 大野 恵子

「リブ」は二年後、「環境



重信くらしの学習会 林 智子

せっけんを使おうという運

宇和島ブロック漁協婦人部

# ひとと彩々

29

## 足元を見つめて

### 清らかな水へ台所からの試み



水をきれいにする会 武井 糸

委員(会)へと発展。会員は十

話(が)、簡易水道水への関心を

もともと食品添加物への疑

「地域の水環境を見つめて

1996. 12.13 朝日

くらしの学習会1996年会計報告

|      |        |         |
|------|--------|---------|
| 収入の部 | 前年度繰越金 | 29,526円 |
|      | 会費     | 39,000円 |
|      | カンパ    | 4,000円  |

合計 72,526円

|      |           |         |
|------|-----------|---------|
| 支出の部 | 切手代       | 14,200円 |
|      | 印刷代       | 2,450円  |
|      | コピー代      | 1,660円  |
|      | 本代        | 1,000円  |
|      | 出会い塾茶菓子代  | 6,241円  |
|      | 事務費(領収証代) | 139円    |

合計 25,690円

差引合計 72,526円-25,690円=46,836円  
次年度繰越金

\*\* 昨年度より、町民会館の印刷機を紙代だけで借りられるようになりましたので、印刷代を極力押さえることができ、財政的に助かっています。このため生まれたゆとりをより活発な活動資金としても使えます。会報も、年に一度は、写真もきれいに印刷できる印刷屋の印刷に回したいという希望も出ています。いずれにしても、有意義に活用したいと思っています。ご意見、ご希望があればお寄せ下さい。

★ 今後の活動 ★

- 一月以降、町長との懇談会 日程が決まり次第ご連絡します。
- 1月27日(月) 総会 10:00~ 町民会館 万障お繰り合わせの上ご参加を!
- 出会い塾は農業者の話 日程が決まり次第ご連絡します。
- その他気の向くまま、アイデアのでるまま活動します。ゴミ問題は今後も継続します。ご意見お寄せ下さい。

会員募集  
 活動会員2,000円  
 購読会員1,000円(年会費)  
 {振込番号} 01610-5-21026  
 問い合わせ tel964-6956 (林)

編集後記:今回は、原稿量も多く、内容も盛りだくさんになりました。いかがでしょうか。会計報告も、載せましたのであわせてご覧下さい。では皆さんよいお年をお迎え下さい。来年もまた宜しくお願いします。(T・H)